



- ◇主な議案の内容……………②③
- ◇審議結果……………③
- ◇常任委員会の活動……………④
- ◇市議会からのお知らせ……………⑤
- ◇市政に対する一般質問……………⑥⑦
- ◇新議場紹介……………⑧

新議場で初めて定例会が開催されました

— より市民の皆様に身近な市議会を目指して —

6月定例会の概要

令和3年6月定例会は、6月1日から18日までの18日間にわたり開催しました。

本定例会は、本年5月に新本庁舎が供用開始されて以降、初めて新議場で開催された定例会で、「令和3年度越谷市一般会計補正予算について」など14件の市長提出議案と2件の委員会提出議案をそれぞれ同意または可決しました。

また、提出された請願「再生可能エネルギー主力電源化の実現に向け国への意見書提出を求める件」については賛成多数で採択しました。

(各議案の結果は3ページに掲載しています。)

※定例会の日程は市議会ホームページをご覧ください。

※新議場の紹介は8ページをご覧ください。

こしがや市議会だよりの愛称は 「harmony」に決まりました!

市民の皆さんに親しまれるこしがや市議会だよりのため、議会だより第211号にて、議会だよりの愛称を募集したところ、137件の応募がありました。議会報専門協議会で審査した結果、こしがや市議会だよりの愛称は、大房在住の望月順次様から応募いただいた「harmony」に決定しました。

7月15日に竹内議長から感謝状と記念品を受け取った望月様は「市民の皆さんに親しみやすい言葉を考え、調和を奏で、ワンチームを連想する「harmony」が思い浮かんだ。harmonyを読んでいただき、市議会に関心を持っていただけたらうれしい」と話されていました。

愛称を応募いただいた皆様、ありがとうございました。



左から大野保司副議長、望月順次様、竹内栄治議長

表紙の写真 新しい議場で初めての定例会を開催しました。
(議員定数32人、現員数31人)

市議会だよりの表紙写真を募集しています。
(詳しくは8ページをご覧ください)

UD FONT
by MORISAWA



スマホ用アプリ「マチイロ」で市議会だよりをご覧ください。

マチイロ

市議会の様子は、市議会ホームページからご覧いただけます。

越谷市議会

検索

http://www.city.koshigaya.saitama.jp/kurashi_shisei/gikai/



主 な 議 案 の 内 容

質疑および討論については、その主なものを掲載しています。

各議案の概要は市議会ホームページに掲載しています。

市長提出議案

令和3年度越谷市一般会計補正予算(第3号)について

主な内容は、歳入では、国庫支出金で子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費補助金等を追加します。繰入金では、財政調整基金繰入金を追加します。歳出では、総務費で福祉システム電算委託料の追加、民生費で、子育て世帯生活支援特別給付金等の追加、教育費で、小中一貫校整備事業に係るアドバイザー業務委託料を追加し、補正予算額は4億6300万円になります。

▶ 議案質疑

問 小中一貫校整備事業におけるアドバイザー業務委託料の目的と意義は。

答 PFI事業の開始から終了に至るまでの各プロセスに沿って、アドバイザー業務委託会社から支援を得ることを目的としている。税務や財務、法務、技術など広範多岐にわたって専門知識やノウハウを必要とすることから、当該業務を委託するものであり、業者との折衝を進めるにあたって、本市にとって意義のあるものと考えている。

問 小中一貫教育の推進における特徴は。

答 これまでの小中一貫教育の積み重ねを土台とし、近接するあるいは一体化した施設環境を活用し、より機能的、機動的な組織の設定、9年間を見通した教育課程の編成、職員の交流、コミュニケーションの一層の促進、学校運営協議会の合同開催、オンライン会議の活用などを通して小中一貫校の強みを生かした教育を推進することができると考えている。また、その成果を共有することにより、地域とともにさらに進化させていくことができると考えていることから、アドバイザー業務委託においても基本計画に基づき作成する実施方針、要求水準書などを通して推進できるように施設環境の整備を図っていく。



小中一貫校整備に係る保護者説明会

▶ 反対討論

▷ この補正予算には、小中一貫校整備事業におけるアドバイザー業務委託料が計上されている。学校という公的な教育施設の維持管理を民間委託していくこと、単にコスト削減を優先してよいのかという問題がある。コロナ禍ではあったものの、地域や保護者への丁寧な説明がないまま進めてきた小中一貫校整備事業に対して、数々の問題があることを指摘してきた。年々レイクタウン地域の児童急増が想定される中、レイクタウンに小中学校を造らず、また、今回の人口増に伴う児童増加を既存施設で対応するということは、今

後市政への信頼を失うことになりかねず、計画ありきで周囲の批判を受け止めずに進めるアドバイザー業務委託には賛成できないため、反対する。

▷ 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業には反対するものではないが、アドバイザー業務委託料には大きな問題点が明らかになっている。小中一貫教育を進めるにあたり、保護者や地域住民が学校への関わりをできるだけ自由に議論し、決定できる仕組みの必要性や、子どもたちの意見や希望が最大限に尊重されることが大切だと思う。現状では、小中一貫教育を進める財政問題や具体的な設計について、保護者や地域住民、子どもたちへの説明や意見聴取が不十分であり、これからの学校運営の中核を成す学校運営協議会での協議も未熟であると考え、反対する。

監査委員の選任について(議員選出)



小林豊代子

平成23年から当選3回。議会運営副委員長、総務常任副委員長、教育・環境経済常任副委員長などを歴任(65歳)



細川 威

平成19年から当選3回。総務常任委員長、建設常任委員長、議会運営副委員長などを歴任(44歳)

令和3年度越谷市一般会計補正予算(第4号)について

主な内容は、歳入では、国庫支出金で新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金および新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を追加します。繰入金では、財政調整基金繰入金を追加します。歳出では、民生費で、生活困窮者自立支援金給付事業に係る事業費等の追加、衛生費で、高齢者施設等におけるPCR検査を実施するための手数料を追加し、補正予算額は3億9000万円になります。

▶ 議案質疑

問 生活困窮者自立支援金給付金事業の目的と期待される効果は。

答 新型コロナウイルス感染症の影響により、生活困窮世帯に対し、これまで緊急小口資金等の特例貸付などによる支援が行われてきたが、コロナ禍による影響が長期化する中、既に総合支援資金の再貸付が終了する等により、特例貸付を利用できない世帯が存在することから、就労による自立を図るため、またそれが困難な場合には、円滑に生活保護の受給へつなげるために支給を行うものである。

問 これまでのコロナ禍での支援策との関係は。

答 新型コロナウイルス感染症の影響が長期にわたる中、生活困窮世帯に対する住居確保給付金の再支給や子育て世帯生活支援特別給付金の支給等、他の支援をはじめ、世帯の就労収入、預貯金等と組み合わせ、自立までの一定期間活用していただくことを想定している。

委員会提出議案

再生可能エネルギー主力電源化の実現を求める意見書について

この議案は、環境経済・建設常任委員会から提案されました。

意見書の要旨

気候変動の被害を最小にするために、産業革命から1.5℃未満の気温上昇に抑制することは世界共通の認識となっている。ホワイトハウスで気候サミットが行われ、各国で温室効果ガス削減目標の積み上げを行い、日本も大幅に目標を上げたところであり、「2050年実質ゼロ」「1.5℃目標」をめざすと同時に、原発に依存しない社会をつくり、安心安全・持続可能な電源を主力電源に選択していくことが求められている。昨今、日本においても再生可能エネルギーの拡大は目覚ましく、15年間の目標を5年でほぼ実現したことになる。このムーブメントは菅首相の今年の所信表明演説で示された「グリーン社会の実現」での再生可能エネルギーへの意欲的な発言で、さらに弾みがつくものと考えている。世界的潮流を捉え、日本においても再生可能エネルギーの主力電源化に向け、第6次エネルギー基本計画の見直しを求める。

1 国は、第6次エネルギー基本計画において、総発電電力量に占める再生可能エネルギーの割合の目標値(2030年、2050年)を「1.5℃目標」が達成できるように大幅に引き上げること。

2 国は、脱炭素社会に向けて、再生可能エネルギー主力電源化の実現に向けた推進と政策転換を早急にすすめること。



意見書提出先 内閣総理大臣、経済産業大臣、環境大臣、行政改革担当大臣

請 願

※請願の全文はホームページに掲載されています。

再生可能エネルギー主力電源化の実現に向け国への意見書提出を求める件

請願の要旨

1 国は、第6次エネルギー基本計画において、総発電電力量に占める再生可能エネルギーの割合の目標値(2030年、2050年)を「1.5℃目標」が達成できるように大幅に引き上げること。

2 国は、脱炭素社会に向けて、再生可能エネルギー主力電源化の実現に向けた推進と政策転換を早急にすすめること。

▶ 反対討論

昨年10月、臨時国会の所信表明演説において、菅首相は、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言した。同年12月にはグリーン成長戦略を発表し、再生可能エネルギーの最大限の導入が必要であることを示す一方で、全ての電力

需要を再生可能エネルギーで賄うことは困難であるとし、2050年には発電量の約50%から60%を再生可能エネルギーで賄うことを目標に、今後議論を重ねるとしている。再生可能エネルギー発電には、再生可能エネルギー発電促進賦課金が科されており、家計に与える影響も考慮しなければならない。また、

国内で流通している太陽光パネルのほとんどが中国からの輸入であり、外交的懸念も考えられる。現行の第5次エネルギー基本計画では、さらなるエネルギー政策の実現に向け、3EプラスSを原則とした長期エネルギー需要の見直しを行い、実現可能なエネルギーミックスを進めてきた経緯があり、以前とは異

なる姿勢を表している。以上のことから、気候変動による地球規模の災害被害を食い止めるには、政府が推進してきたエネルギー政策を転換するのではなく、広く推進していくべきであると考え、本議案に反対する。

就任のごあいさつ



議長
竹内 栄治

■平成23年から当選3回。副議長、民生常任委員長、決算特別委員長、総務常任副委員長などを歴任(65歳)



副議長
大野 保司

■平成23年から当選3回。監査委員、民生常任委員長、決算特別委員長、議会運営委員などを歴任(57歳)

市民の皆様には、日頃より市議会に対し深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

このたび、私たちは6月定例会において、議長ならびに副議長に就任いたしました。改めてその使命の大きさと責任の重さを痛感しております。

さて、新本庁舎完成に伴い、6月から新しい議場での定例会を実施いたしました。新議場では、小さなお子様連れの方や障がいのある方に配慮した傍聴席を設け、来庁者がより気軽に訪れることができる環境が整備されました。また、議会中継におきましても、6月定例会からは本会議に加え、各委員会のライブ中継も開始しており、議会活動をより多くの皆様にご覧いただき、身近に感じていただけることを期待しております。新型コロナウイルス感染症の流行により、ライフスタイルや考え方が大きく変化している中で、引き続き市議会では、議場出席者の密接を避けるアクリル製防護シールドの設置や傍聴人の人数制限を行う等、感染症対策を考慮した議会運営に努めてまいります。

少子高齢化の進展や本市でも近い将来予想される人口減少社会、多様化する地域課題に的確に対応していくために、市議会として果たすべき役割と責任はますます重要になるものと考えております。市民に開かれた議会を目指し、議会機能のさらなる充実と活性化に努めるとともに、これからも市民の皆様のご意見やご要望を真摯に受け止めながら、本市の発展に向けて全力で取り組んでまいります。

市民の皆様には、なお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。

令和3年6月定例会

審議結果

◇議案の概要は市議会ホームページから確認できます。

すべての議員が賛成した議案(議長を除く)

議案番号	付託委員会	議案名	議案番号	付託委員会	議案名
市長提出第65号~第66号	省略	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(野口 淳一 氏(再任) 樋口 亨 氏(再任))	市長提出第72号	子ども・教育	越谷市立大相模中学校校舎外壁改修工事請負契約の締結について
市長提出第67号	総務	越谷市税条例等の一部を改正する条例制定について	市長提出第73号	子ども・教育	越谷市立第1体育館等解体工事請負契約の締結について
市長提出第68号	民生	越谷市手数料条例の一部を改正する条例制定について	市長提出第75号	民生	越谷市手数料条例の一部を改正する条例制定について
市長提出第69号	民生	越谷市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例制定について	市長提出第78号	省略	令和3年度越谷市一般会計補正予算(第4号)について
市長提出第70号	環境経済・建設	橋梁耐震整備工事(千代田橋)請負契約の締結について	委員会提出第3号	省略	越谷市議会会議規則の一部を改正する規則制定について
市長提出第71号	子ども・教育	越谷市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例制定について			

賛否が分かれた議案・請願

議案番号	付託委員会	議案名	会派名																賛成	反対	本会議議決結果																			
			自由民主党越谷市議団					公明党越谷市議団				立憲・市民ネット			日本共産党		刷新クラブ					維	無																	
			野口 佳司	伊藤 直樹	金井 玲子	島田 代子	小林 豊代子	大野 保司	服部 正一	野口 和幸	岡野 英美	守屋 亨	竹内 栄治	瀬賀 恭子	畑谷 茂	久保田 茂	細川 威	後藤 孝江	福田 晃	松田 典子	山田 裕子	清水 泉	山田 大助	宮川 雅之	工藤 秀次	大和田 哲	松島 孝夫	武藤 智	浅古 高志	野口 高明	小林 成好	白川 秀嗣	菊地 貴光							
市長提出第74号	分割(※)	令和3年度越谷市一般会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	5	可決			
市長提出第76号	省略	越谷市監査委員の選任につき同意を求めることについて(小林 豊代子 氏)	○	○	○	○	除	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	9	同意		
市長提出第77号	省略	越谷市監査委員の選任につき同意を求めることについて(細川 威 氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	9	同意	
3 請願第1号	環境経済・建設	再生可能エネルギー主力電源化の実現に向け国への意見書提出を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	29	1	採択	
委員会提出第4号	省略	再生可能エネルギー主力電源化の実現を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	29	1	可決

※総務、子ども・教育分割

凡例 ○…賛成 ×…反対 議…議長(議長は採決に加わりません) 除…除斥議員。議案に利害関係のある議員は、議決に加わりできません

会派名の日本共産党は「日本共産党越谷市議団」、刷新クラブは「越谷刷新クラブ」、維は「日本維新の会」、無は「無所属」の略

<越谷市議会議員 条例定数=32人 現員数=31人>

常任委員会の活動

6月定例会に上程された議案のうち、市長提出議案9件と請願1件が所管の常任委員会に付託され審査を行い、全ての議案を原案可決しました。
※質疑のあった議案について主な質疑と答弁を掲載しています。QRコードを読み取ると、委員会の録画映像をご覧いただけます。



総務



令和3年度越谷市一般会計補正予算(第3号)について

問 財政調整基金の現状と今後の見通しは。

答 財政調整基金の残高は約25億4900万円となり、令和2年度の標準財政規模に対しては、4.1%になる。令和2年度からの繰越金を活用して積み増ししていきたいと考えている。

問 財政調整基金の積み立ておよび取り崩しの考え方は。また、小中一貫校整備事業のアドバイザー業務委託料について財政調整基金を活用している理由は。

答 近年の当初予算編成は、財源不足が見込まれ、財政調整基金から多額の繰り入れをしている。このため、繰越金を活用して積み戻しをしている。また、アドバイザー業務委託料については、PFI事業の実施判断が当初予算編成までに整わず、その後、PFIで取り組むことが決定したが、当初予算の執行から2カ月では、新たな財源を手当てすることができなかつたため、財政調整基金を取り崩して対応した。

問 福祉システム電算委託料の概要とコストの考え方は。

答 児童扶養手当、特別児童扶養手当受給者等のうち、市民税均等割が非課税の方などを対象に、児童1人につき5万円を給付するための委託料である。コストが高くなっていないか確認し、今後も適正価格の維持に努めていきたいと考えている。

▶**反対討論** 財政調整基金を繰り入れ、小中一貫校整備事業「アドバイザー業務委託料」に計上しているが、不要不急の財政調整基金の活用は、市民に不安を与えるものとなりかねない。また、十分な市民説明の場を設けていないことから、反対する。



民生



越谷市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例制定について

問 電磁的方法の内容と紙媒体の今後の取り扱いは。

答 タブレット端末を活用した支援計画の説明や電子署名による同意等が考えられる。一方、受給者証への必要事項の記載など、紙媒体の取り扱いも継続する。



問 電磁的方法のメリットは。

答 事業者の利便性向上や紙の量の削減につながる。利用者においても、電子データを自宅のパソコン等で閲覧可能となる。



環境経済・建設



再生可能エネルギー主力電源化の実現に向け国への意見書提出を求める請願について

本請願は紹介議員ならびに参考人として請願団体から4人の出席を求め審査しました。

問 請願の要旨の実現に向け、市に求めることは。

答(参考人) 行政が中心となり再生可能エネルギー転換に対する支援を行っていただきたい。教育面でも、市の環境問題に対する取り組みなどを伝えていただきたい。

問 政府が掲げる再生可能エネルギーの割合の目標値や原子力発電の考え方に対する認識は。

答(参考人) 目標値の理想はあるが、まずは再生可能エネルギー転換への機運を高めるため、政府目標とともに進んでいきたい。また、原子力発電のリスクを考えると廃止が理想だが、さまざまな課題が残っていることから、段階的に再生可能エネルギーへ転換していただきたいと考えている。

問 請願書に記載されている政策転換の内容は。

答(参考人) ヨーロッパでは再生可能エネルギー転換への取り組みが進められている。日本においても機運を高め、再生可能エネルギーを推進するための財政的支援などが必要と考える。

問 国が示した新たな温室効果ガス削減目標を環境管理計画に反映させる考えは。また、目標達成のための体制は。

答(執行部) 国の新たな目標値が示される前に計画を策定していたため、従前の目標値としているが、今後見直しについて検討していきたい。また、目標達成には広域的に進めた方が有効と考え、埼玉県東南部地域5市1町で「ゼロカーボンシティ」共同宣言を行った。今後も5市1町で行える取り組みについて検討していきたい。

▶**発言** 目標数値や原子力発電への考えについて、多少、政府見解と異なる部分があるものの、段階的な再生可能エネルギーの導入や原子力発電への依存を少なくする考え方の方向が政府と一致していると考え。

▶**発言** 各委員の発言から、子どもたちの未来を創っていききたいという思いは共通していると感じた。

▶**賛成討論** 地球温暖化による気候危機が深刻化している。日本の産業技術による再生可能エネルギー主力電源化は、低コストで実現可能であると考え、本請願に賛成する。

橋梁耐震整備工事(千代田橋)請負契約の締結について

問 湧水が発生した場合の工事への影響は。

答 止水対策として薬液注入工法による地盤改良工を行った経緯がある。工事中の湧水発生時には、ポンプによる対応が可能であり、工事への影響はないと考えている。



子ども・教育



越谷市立大相模中学校校舎外壁改修工事請負契約の締結について

問 改修工事期間の設定は。また、今後の校舎改修工事の見直しおよび優先順位は。

答 アスベスト飛散防止等の対策のため、安全を考慮し夏休み期間に工事を行う。次年度は老朽化がみられる明正小学校の改修を予定しており、今後は、各学校の状況等を把握したうえで優先順位を考えていく。



大相模中学校

越谷市立第1体育館等解体工事請負契約の締結について

問 隣接する大沢小学校の登下校の安全対策は。また、体育館利用者への配慮は。

答 工事中は仮囲いを設置するなど、安全対策には万全を期していく。また、他の地域体育館の利用枠数を増やすことで、継続的に活動ができるよう対応していく。

令和3年度越谷市一般会計補正予算(第3号)について

問 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業において、対象者への周知方法は。

答 個別に案内通知を発送するとともに、「広報こしがや」や市ホームページへの掲載、cityメールの配信、保育所や児童施設等へチラシの掲示を行う予定である。

問 アドバイザリー業務委託料を計上した経緯は。また、PFI事業者に対する要求水準書に市民の声を反映させる考えは。

答 事業手法の検討の結果、VFM(バリュー・フォー・マネー)があり、事業者の参加意欲も確認でき、PFI方式が有効であることから、令和3年4月16日の政策会議に諮り市長決裁を行った。これまで説明会等にいただいた意見等を要求水準書の作成にあたり十分参考にさせていただく。

問 アドバイザリー業務委託の事業手法の検討および保護者との意思疎通の考え方は。

答 他の手法も比較したうえで、総合的に評価しPFI手法に至った。また、該当小学校の保護者に情報を紙媒体で配布し、広く意見を伺うとともに説明会も実施した。PFI手法の要求水準書の作成において、いただいた意見等を踏まえ取り組んでいく。

▶**反対討論** 3学園構想は、計画ありきで市民への周知等が不足しており、今回のアドバイザー業務委託も知らないうちに後戻りしにくい状況が作られつつある。これでは保護者や地域の協力を得て運営する学校のあり方の根本にひびが入りかねないと危惧している。周囲の批判を受け止めずに進めることに賛成できないため、反対する。

こしがや市議会からの

お知らせ

議会人事

6月定例会において、任期満了に伴い、議会運営委員会および常任委員会の委員が改選されました。

また、各種議会議員、審議会等委員の辞任等に伴い、次の方々を選出されました。

なお、掲載内容中、越谷市社会福祉協議会理事・評議員および埼玉県共同募金会越谷市支会理事・評議員については、市議会における推薦時点によるものです。

議会運営委員会委員

(◎委員長 ○副委員長)

- ◎守屋 亨 ○野口 和幸
- 清水 泉 小林 成好 松田 典子
- 野口 高明 畑谷 茂 宮川 雅之
- 島田 玲子 金井 直樹

〔所管事項〕

議会運営に関する事項。議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項。議長の諮問に関する事項

総務常任委員会委員

(◎委員長 ○副委員長)

- ◎後藤 孝江 ○小林 成好
- 工藤 秀次 野口 和幸 浅古 高志
- 瀬賀 恭子 守屋 亨 野口 佳司

〔所管事項〕

一般会計予算のうち歳入に関する事項。危機管理室、市長公室、総合政策部、行財政部、総務部、会計課、消防局、議会、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員および固定資産評価審査委員会の所管に関する事項。その他、他の常任委員会の所管に属さない事項

民生常任委員会委員

(◎委員長 ○副委員長)

- ◎小林豊代子 ○松田 典子
- 久保田 茂 竹内 栄治 宮川 雅之
- 武藤 智 島田 玲子

〔所管事項〕

市民協働部、福祉部、地域共生部、保健医療部および市立病院の所管に関する事項

環境経済・建設常任委員会委員

(◎委員長 ○副委員長)

- ◎畑谷 茂 ○山田 裕子
- 大和田 哲 白川 秀嗣 福田 晃
- 大野 保司 松島 孝夫 伊藤 治

〔所管事項〕

環境経済部、建設部、都市整備部および農業委員会の所管に関する事項

子ども・教育常任委員会委員

(◎委員長 ○副委員長)

- ◎菊地 貴光 ○服部 正一
- 清水 泉 山田 大助 野口 高明
- 細川 威 岡野 英美 金井 直樹

〔所管事項〕

子ども家庭部および教育委員会の所管に関する事項

議会報専門協議会委員・図書室協議会委員

(◎議長 ○副議長)

- ◎竹内 栄治 ○大野 保司

- 工藤 秀次 清水 泉 小林 成好
- 浅古 高志 瀬賀 恭子 伊藤 治

埼玉県都市競艇組合議会議員

竹内 栄治

越谷・松伏水道企業団議会議員

- 大和田 哲 清水 泉 野口 高明
- 畑谷 茂 瀬賀 恭子 竹内 栄治
- 大野 保司 小林豊代子 細川 威
- 岡野 英美 金井 直樹 伊藤 治

東埼玉資源環境組合議会議員

- 山田 裕子 宮川 雅之 武藤 智
- 守屋 亨 島田 玲子 野口 佳司

越谷市都市計画審議会委員

- 久保田 茂 野口 和幸 山田 大助
- 服部 正一 後藤 孝江 松島 孝夫

越谷市社会福祉審議会委員

小林豊代子

越谷市空家等対策協議会委員

畑谷 茂

越谷市土地開発公社理事

- 工藤 秀次 久保田 茂 野口 和幸
- 福田 晃 松島 孝夫

越谷市土地開発公社監事

服部 正一

越谷市社会福祉協議会理事

大野 保司

越谷市社会福祉協議会評議員

小林豊代子 松田 典子

埼玉県共同募金会越谷市支会理事

大野 保司

埼玉県共同募金会越谷市支会評議員

小林豊代子 松田 典子

議員表彰

令和3年度全国・埼玉県の各市議会議長会定期総会において、永年にわたる地方自治の発展に寄与された功績により、次の方々を表彰されました。

議員職15年以上表彰(議席順)



松島 孝夫
平成17年から当選5回。議長、副議長、監査委員、総務常任委員長、建設常任委員長などを歴任(45歳)



金井 直樹
平成17年から当選5回。議長、監査委員、議会運営委員長、建設常任委員長、予算特別委員長などを歴任(55歳)



山田 大助
平成23年から当選3回。民生常任副委員長、議会運営委員、予算特別委員、決算特別委員などを歴任(48歳)



福田 晃
平成23年から当選3回。監査委員、総務常任委員長、教育・環境経済常任副委員長などを歴任(46歳)



大野 保司
平成23年から当選3回。監査委員、民生常任委員長、決算特別委員長、議会運営委員などを歴任(57歳)



小林豊代子
平成23年から当選3回。議会運営副委員長、総務常任副委員長、教育・環境経済常任副委員長などを歴任(65歳)



服部 正一
平成23年から当選3回。副議長、民生常任委員長、第5次総合振興計画特別委員長などを歴任(56歳)



宮川 雅之
平成19年から当選3回。議会運営委員、総務常任委員、民生常任委員、建設常任委員などを歴任(46歳)



細川 威
平成19年から当選3回。総務常任委員長、建設常任委員長、議会運営副委員長などを歴任(44歳)



島田 玲子
平成23年から当選3回。副議長、監査委員、建設常任委員長、議会運営副委員長などを歴任(74歳)

会派代表者の変更

令和3年6月1日付で「公明党越谷市議団」の代表者が守屋亨議員から岡野英美議員に変更になりました。

9月定例会の開催予定

令和3年9月定例会は、9月1日(水)から29日(水)までの29日間にわたって開催する予定です。

詳しくは、市議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。(☎963-9261)

傍聴して一言

本定例会では、50人の傍聴者がありました。いただいた感想から一部要約して紹介します。

- 議場内にモニターが設置されたことで、発言者の姿や表情が見えて良かった。
- 常任委員会を身近に感じる事ができた。
- 発言者の声が小さく、傍聴席から聞き取りづらかった。
- 一般質問の発言時間が1時間では短すぎると感じた。
- 質問内容や答弁があらかじめ決まっているような印象を受けたので、筋書き通りではない白熱した議論を期待したい。

市政に対する 一般質問

6月定例会では18人の議員が市政全般について質問を行いました。
一般質問は、新型コロナウイルス感染症対策のため出席者を必要最小限にして実施しました。



せんげん台駅西口周辺の電線類の地中化および財源の確保について



公明党越谷市議団 守屋 亨 議員

問 せんげん台駅西口周辺の電線類の地中化および財源の確保についての取り組みは。
市長 第5次越谷市総合振興計画前期基本計画の中で、引き続き無電柱化の推進を掲げている。事業を進めるにあたっては、国の補助金による財源の確保が不可欠である。国土強靱化地域計画にしっかりと位置付けを行い、せんげん台駅西口周辺の電線類の地中化については、計画策定の際、事業の優先性を検討していく。



過大規模校となる(仮称)蒲生学園の問題点について



日本共産党越谷市議団 大和田 哲 議員

問 過大規模校となる(仮称)蒲生学園の児童生徒は1600人を超える。一人あたりの校庭面積が3分の2に減ってしまうが運動場などの利用制限はどうなるのか。
教育長 問題は認識している。児童生徒が多くなることで心配される休み時間や放課後等の安全面については、運動場を使用する時間を学年ごとに分けたり、ボール運動を行うエリアを分けたりするなど、安全面に配慮した活動を検討する。



蒲生第二小学校
(仮称)蒲生学園の校庭として使用)



自転車の安全な利用の条例制定について



日本維新の会 小林 成好 議員

問 自転車の安全な利用の促進のために、条例を制定する考えは。
市長 県は自転車の安全な利用の促進に関する条例で、安心して暮らせる地域社会の実現を目的としている。本市は、独自の条例は制定していないが、警察をはじめとした交通安全関係団体と連携し道路交通法や県条例の遵守、各種事業を通じた交通安全意識の向上などの取り組みにより、自転車の安全な利用促進に努めていく。



高齢者のごみ出しにおける課題の検討について



立憲・市民ネット 福田 晃 議員

問 一般廃棄物処理基本計画改定における高齢者のごみ出しの課題における検討は。
市長 ふれあい収集(ごみ出しが困難な高齢者や障がい者への戸別収集制度)の継続および強化の検討を個別施策としている。今後さらに独り暮らしの高齢者等の増加が見込まれる中、屋内から粗大ごみなどの持ち出しを行う際のサポートの拡充なども含め、より利用者寄り添った対応について、さまざまな角度から検討していく。



市役所敷地内喫煙所の設置について



越谷刷新クラブ 松島 孝夫 議員

問 新型コロナウイルス感染症予防の観点から、不特定多数の人がマスクを外し、密集、密接しやすい場所を助長してしまうことになる喫煙所を早急に造る必要があるのか。
市長 そういう観点もあるが、今造ろうとしていることについては、愛煙家の要望も一部取り入れて、対応する必要があるという認識である。さまざまな要因があるが、暫定的に敷地内1階の隅に設置をする。



新本庁舎の階段の利用について



立憲・市民ネット 松田 典子 議員

問 新本庁舎の4階以上の階段には扉があり、非常口表示があるため利用しづらい。階段の利用促進についての取り組みは。
市長 煙突効果により空調の冷気や暖気が逃げてしまわないよう、市民の利用が少ない4階以上には扉を設置している。今後は階段の利用促進を図るため、階段の場所を分かりやすく明示した上で、階段利用のメリットを整理したポスターを掲示するなどの啓発を行っていく。



草加市役所の階段



今後の市政運営の考えについて



立憲・市民ネット 細川 威 議員

問 今秋越谷市長選挙を迎える中での、市政運営については。
市長 3期にわたって基本理念等の実現に取り組んできたが、課題は山積している。行政は継続で、永遠に続く。したがって、私は任期満了をもって勇退し、次なる市長にバトンタッチしたい。職員や議員、各種団体、そして市民の皆様へ感謝をし、任期満了の11月10日まで全力で職務を遂行する。



コロナ禍における病院運営について



自由民主党越谷市議団 野口 和幸 議員

問 越谷市立病院の運営と今後の展望は。
市長 現在、15床のコロナ専用病床で陽性患者の受け入れを行っている。令和2年度の経営状況については、外来・入院ともに患者が減少することで医業収益の減少を予測したが、国、県から11億円程度の補助金を受けた結果、3億円程度の純利益を見込んでいる。今後も感染症対策を徹底し、安定した医療提供と収益確保に努めていく。



市立病院



情報弱者のデジタル活用に向けた支援と環境整備について



公明党越谷市議団 久保田 茂 議員

問 デジタル機器がない方等への支援は。
市長 オンライン化については、誰もが使いやすい仕組みの提供に努めたい。スマホ教室については、地元ICT企業等との連携、地域の多様な人材の活用を検討する。
問 公共施設のWi-Fi等の拡充は。
市長 Wi-Fi設置箇所の市民ニーズ調査を実施し、自動販売機など民間活力の活用も検討する。キオスク端末の拡充は、広く、多くの人に提供できるよう検討する。

各議員の氏名の左にあるQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、一般質問の録画映像をご覧ください。



Q メ切橋について



自由民主党越谷市議団 服部 正一 議員

問 南荻島地区に昭和12年に架けられたメ切橋は、老朽化のため現在は通行止めになっている。今後の選択肢としては、①撤去して近隣の橋梁と統廃合すること、②本格的修繕をして存続させること、③新しい橋梁に架け替えることなどであるが、どのように考えているか。

市長 存続してほしいという地元住民のご要望に対応できるように、国や県との調整を進めていきたい。



メ切橋

Q 子どもの権利条例制定について



日本共産党越谷市議団 宮川 雅之 議員

問 子どもに関わる施策に子どもが参加する権利を保障するため、子どもの権利条例を制定する考えは。

市長 市では自治基本条例を制定しその理念の下、子どもの意見の尊重や参画を促進し、市民参加の拡充を進めている。

問 報酬改定後の放課後等デイサービスへの支援を行う考えは。

市長 市独自の公的支援の予定はないが、状況を聞いたうえで判断する。

Q (仮称) 緑の森公園保育所整備における市民への周知について



日本共産党越谷市議団 工藤 秀次 議員

問 (仮称) 緑の森公園保育所整備について、市民へは地元自治会長への説明と近隣自治会への回覧板、保護者へは、転園希望の案内だけと周知が不十分であり、さらなる周知の取り組みは。また、「園庭が狭い」「交通量が増え混乱する」「災害時の避難に不安がある」という声をどう受け止めるか。

市長 今後関係者、保育士をはじめ地域の皆さんの声も聞き取りをして、具体的な設計に入る。

Q 生きがい対策について



自由民主党越谷市議団 小林豊代子 議員

問 人生100年時代と言われているが、高齢者が地域で健康に生活できるよう、現在の老人福祉センターにおける生きがい対策の取り組み状況は。

市長 健康増進を目的とした事業が人気となっている。令和元年度からは越谷市社会福祉協議会と民間スポーツ会社との共同事業体による指定管理となり、企業の特性を活かした事業を行っている。



老人福祉センターひのき荘の機能回復訓練室

Q 乳幼児親子への配慮について



立憲・市民ネット 清水 泉 議員

問 乳幼児連れでも図書館を利用しやすくするための工夫は。

教育長 館内はベビーカーの利用が可能になっている。冊数が多い場合等には小型ブックカートを導入している。

問 図書館以外での貸し出しは。

教育長 地区センター・公民館10カ所、交流館7カ所、老人福祉センター4カ所、こぼと館、リサイクルプラザで6万7962冊の蔵書を配本している。

Q B1昇格に向けた本市協力体制の一本化について



越谷刷新クラブ 野口 高明 議員

問 越谷アルファーズのB1昇格に必要なB1ライセンス基準のクリアに向けた全面的な協力をしていただけるということで間違いはないか。

市長 市としてもできるだけ応援体制を取って、そして選手の皆さん、関係者の皆さんの期待に応えるように応援していきたい。市をはじめ施設管理公社等の施設管理の面も含めて検討して、ご要望にお応えしたい。



越谷アルファーズ

Q 配食サービスを通じた高齢者の支援について



無所属 菊地 貴光 議員

問 配食サービスの需要が年々高まっているが、市の認識は。また現状の利用状況は。

市長 地域高齢者等の低栄養防止や食生活改善につながると認識している。利用者は約1300人で、ここ数年増加傾向にある。

問 サービス推進のため事業者との連携は。

市長 各地区の「地域包括支援ネットワーク会議」に参加いただいているが、今後も高齢者の健康支援のため連携を図っていきたい。

Q 学校における生理用品の無償配布について



立憲・市民ネット 山田 裕子 議員

問 生活困窮や親のネグレクトなどが原因で生理用品を十分に手に入れることができない子どもが増えているが、学校における生理用品の無償配布の考えは。

教育長 現時点においては、保健室で常備しているが、トイレの個室に常備することについては先進自治体の取り組みを情報収集し調査研究したい。

Q PCR検査の拡充について



日本共産党越谷市議団 山田 大助 議員

問 新型コロナ対策として高齢者・障がい者の入所施設では従事者と新規入所者にPCR検査をおこなっているが、通所系および訪問系の事業所でも従事者や利用者へ検査対象を拡大する考えは。

市長 通所系事業所の従事者には、PCR検査を実施する準備を進めている。通所系の利用者や訪問系の従事者・利用者については、今後国の通知があれば速やかに検討したい。

新しい議場をご紹介します!



議場内にモニターを設置しました

各議員が一般質問を行う際は、発言残時間や資料が投影されます。また、議案の賛否が映し出されるようになりました。

傍聴をもっと身近に

傍聴席が低い位置になり、議会の様子をより近い目線で傍聴できるようになりました。また、傍聴席はバリアフリーとなっており、親子傍聴席も設けられています。さらに傍聴ロビーにもモニターを設置しました。

委員会のライブ中継がご覧いただけます

委員会室も新しくなり、常任委員会・特別委員会のライブ中継が視聴できるようになりました。



親子傍聴席は外に音が漏れない構造。気兼ねなく傍聴いただけます



傍聴席は一般席45席、車いす2台分のスペースがあります



ゆったりとした傍聴ロビー

西方小の子どもたちが議場の見学に来ました!

6月22日に西方小学校の6年生142人が新議場の見学に訪れました。議会事務局の職員の説明を聞いた後、質問をしたり、議席に座る体験を行ったりと、楽しく市議会について学んでいました。



新型コロナウイルス感染症対応に充てていただくため

昨年度に続き 議会費の減額を市長に申し入れました

越谷市議会では、7月9日に開催された代表者会において、今年度予定していた行政調査を取りやめることとし、議会費の一部について削減することを決定しました。

減額分は、昨年度と同額の1060万円で、新型コロナウイルス感染症対応に充てていただくよう、同日、高橋市長に申し入れました。



左から青山雅彦副市長、高橋努市長、竹内栄治議長、大野保司副議長

編集後記

新市庁舎となって初めて行われた定例会となりました。新議場には大型のスクリーンが設置され、一般質問では資料を映すこともできるようになりました。傍聴席もバリアフリー化し、新たに親子傍聴席も設け、より快適に傍聴できるように配慮されています。コロナ禍で制限はありますが、是非足を運んでみてください。

議会報専門協議会委員
小林 成好

11月1日号 表紙写真を募集します

こしがや市議会だより令和3年(2021年)11月1日号の表紙写真を募集します。

募集内容

越谷市に関連する行事、風景、人物、その他季節に

合うもの

応募資格

越谷市在住、在勤または在学の方

応募期間

令和3年(2021年)10月13日(水)まで
※応募規定など詳しくは市議会ホームページをご覧ください。